



聖日礼拝プログラム

今週のみことは

司会者 中川彦市兄 奏楽者 渡邊頼子師

讃美	新253	イエスの御腕に	—	同
主の祈り			—	同
讃美	新247	神の賜う安けさは	—	同
交読	詩篇	26:1~12	—	同
祈禱			司会	者
報告				
聖書	創世記	15:1~21	司会者	
説教		「義とされたアブラム」	渡邊貞雄師	
献金	新264	われ贖われて	北村真理姉	
頌栄	新63	父、御子、御霊の	(起立)一同	
祝禱			渡邊貞雄師	

アブラムは主を信じた。それで、それが彼の義と認められた。

創世記一五・六

それで、それが彼の義と認められた。

受 = 中川 姉 / 操 = 山口 姉 / A = 福田 姉 / 報 = 牧 師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会
TEL 0598 (29) 1780 主任 牧師 渡邊 貞雄
FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊 頼子



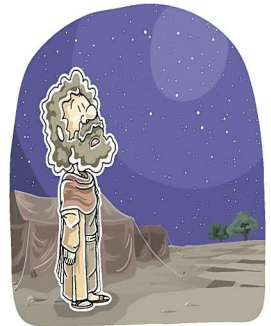
2023年6月18日 VOL47-25 No. 2433

URL <http://matukyo.com/>
Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 梅雨の期間ですが、夏本番のような暑さが続いています。お互いの健康のためには、特別にお祈りさせていただこう。
- ▼ 本日は「父の日」です。家長の責任ある立場の方々には感謝の心を表しましょう。教会からも、スモール・プレゼントがあります。「知恵のある子は父の訓戒を聞き、嘲る者は叱責を聞かない。」(箴言13章1節)

- ▼ 「よき道ニュース版」(6月号)は週報ボックスに入っています。
- ▼ COG宣教部より、7月9日(日)の「国外宣教のために祈る日」のポスターが届いています。掲示板をご覧ください、宣教の御業の前進を祈りましょう。



にれ はみ

2023年6月11日
聖日礼拝
創世記14:1~24
「甥のロトを救出」
説教 渡邊貞雄 師



今日は二つの連合軍が激戦を展開し、ロト一族が巻き込まれた出来事です。

I、略奪の報を受けたアブラム

捕虜の1人が脱走、アブラムにロト一族が連行されたと知らせた(13)。この時ロトはソドムに住んでいた(12)。そしてこれまで蓄積した多くの財産、僕たち、家族の全員が連れ去られた。何もかも一切合切を奪われた。

この報を受けたアブラムは素早く反応し組織を編成し、奪還すべく追撃した。彼の部隊編成、慎重な分散、ダマスコへの長距離追撃は見事。精鋭部隊318人は心を1つに追撃した。

これがアブラムたちの信仰姿勢だった。彼らは素早い決断と判断をして行動を起こした。損か得か、有益か不利か、危険か安全か等のリスクを天秤にかけての行動ではなかった。

これは「自分の親族(兄弟の意もあり)」(14)のための果敢な不退転の戦いであった。まさに神(聖霊)を信じ、神の「進め」との促しと確信した行動だった。ある注解書は「ロトがアブラムと別れた時点で、真の神とも別れた」と表現されており意味深い。

II、アブラムを迎えた王たち

2人の王、ソドムの王(17)とメル

キゼデクの王であった(18)。メルキゼデク王は、サレム(シャローム、平和の意)の王と言われ、「いと高き神の祭司」でもあった。アブラムは彼から、パンとぶどう酒を受け、戦いの勝利は天と地を造られた、いと高き神からの勝利として感謝の祈りを捧げた。それに対し、アブラムは持ち物の十分の一を捧げ、勝利は神からだを受けとめて素直に感謝した。

一方ソドムの王は(21)、捕虜はもらうが、分捕ったものとはよいと返事をした。しかしアブラムは、いと高き神の勝利であるとして、ソドムの王からは、糸1本、履物のひも1本受け取らないと拒絶した。それは後々にソドムの王が、私のおかげで勝利したと吹聴しないための拒絶だった(23)。

メルキゼデク王とは、義の王の意味もあった。私たちはミニチュアで、ポケットに入る神を求めているのだろうか。私たちの神は天地を造られたお方であり、物や人や目に見えるものに頼ることなく、どんな時でも勝利を与えてくださる神である。

アブラムは糸1本、ひも1本も受けとらないと告白した。この信仰こそ苦境の中でも、神が喜んで勝利をお与え下さる私たちの信仰姿勢でありたい。



◎ 国際協力の現状と今後の課題 (危機疲れに覆われる世界)

最も弱い立場の子どもたちに愛と希望を。20

23年も折り返し目前、広報活動のために現地入りしたG7広島サミットからの帰途、この原稿をまとめている。採択された「G7広島首脳宣言」には「危機(crisis/emergency)」という言葉が35回登場する。調べてみると前回のG7サミットのそのほぼ2倍であり、今日の世界の様相を象徴しているようだ。

◎ 世界が直面する4課題 (グローバル課題のキーワード)

昨今「4C」が語られる。新型コロナウイルス感染症(Covid-19)、気候変動(Climate Change)、紛争(Conflict)、そして、食料・資源価格高騰(Cost)だ。四つのCが絡み合い第5のC:危機(Crisis)を誘発、拍車をかけている。人道危機、食料危機、難民危機、経済危機、気候危機。全ての危機には共通した

残酷な顔がある。最も弱い立場にある子どもたちや人々が、その影響を最も受け苦しんでいる。

◎ 世界宣教の現状と今後の課題 (しなやかな応答こそ必須)

コロナ禍、政情不安で新たな方向性を模索。21世紀の幕が明けてほぼ四半世紀、世界は戦争、異常気象、コロナ禍で大きく揺れています。しかし私たちの主は否定的に見える事象をも逆手に取って新しい波を起こし、すべての民への宣教を前進させておられます。

◎ 被宣教国への重心移動 増える宣教師入国制限

過去50年の最大の変化は宣教の重心移動、つまり従来の被宣教国が急進し世界宣教を牽引する側へと変貌したことです。その純粋な信仰と福音宣教への情熱と献身は、私たちが今後も交流し学ぶべきところだと考えます。宣教は福音の根幹を堅持しつつ、時代の特徴にしなやかに応答していくことが必須です(以下略)。

◎ 6/14 (水) 祈禱会 詩50:15 頼子師 「決めておられる主」

主は、私たちが右往左往している時から、迷い不安を感じている時から、ひとり苦しみを背負っているような時から、目の前の危険に気付かずにいるような時から、「呼び求めよ、助け出す」と決めておられるお方です。

私たちは救われる時、信仰を持つ時、或いはその前後で、初めて「神さま」と呼び求めたのではないのでしょうか。この

時から神さまを親しく呼び求める生涯、神さまをあがめる生涯が始まりました。

そして、それは「永遠の安き」へ向かう生涯です。今更遅いですか。今より早い時はなく、遅いと感じたその時が、一番早い時でありチャンスです。



「今後の集会予定／教会情報」

◎ 6/21 (水) 定例祈祷会 (PM7:00)
(ZOOMにて開催中)

◎ 6/24(土) 清掃奉仕 (AM9:30)

◎ 6/25 (日) 聖日礼拝 (AM11:00-)

◆ 祈祷会 (司) 北村兄 (説) 渡邊師

● 来週礼拝 創世記 22 : 1 ~ 29

● 主 題 「主の山には備えあり」

定期集会のご案内

◇ 楽しい組会 (日) 午前10:00~10:45

◇ 聖日礼拝 (日) 午前11:00~12:00

◇ 早天祈祷会 (火土) 朝 6:30~ 7:00

◇ 祈 禱 会 (水) 午後 7:00~ 8:15

来週 の 奉 仕 者

◎ 礼拝司会 北村兄

◎ 礼拝奏楽 頼子師

◎ 礼拝献金 中西兄

◎ 受 付 岡山姉

▽ 教会学校 随 時

▽ ヤ ン グ 随 時

▽ ア ハ ン な し

▽ ホ レ ブ な し

▽ 教会ナビ 随 時

▽ 昼食当番 な し

▽ アッシャー 北村姉

▽ S S 入力 中川姉

▽ PPT操作 中川兄

《《《 2023年 松阪教会スローガン「乗り越える！」(+) (プラス) 》》》
「ヨセフは実を結ぶ若枝…その枝は垣を越える」(創49・22)

礼拝の心得

- ① 聖書のヨハネ4:24に「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」とあります。
- ② 始まる時間と5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。
- ③ 賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。
- ④ 語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けましょう。
- ⑤ 献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心から喜んでおささげしましょう。
- ⑥ その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。
- ⑦ やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。



自分の「X」を
数えるな。
テストですら、
「の合計が
点になる」だから

④

